

2023 秋派遣
APU - NEOMA Business School
ダブルディグリープログラム(学部) 募集要項

APU の国際経営学部 (APM) がフランスの NEOMA Business School (NBS) の国際ビジネスマネジメント学部 (CESEM) と締結したダブルディグリープログラムの参加者を募集します。

本プログラムの参加者は、APU および NBS でそれぞれ 2 年間の学修を行い、両大学の卒業要件を満たす事



で、4 年間で 2 つの学位 (APU: 学士 - 経営学、NBS: 学士 - 国際経営) を取得するプログラムです。

目次

1. 募集概要	2
2. 選考	3
3. 申請方法	3
4. 派遣内定者	5
5. 派遣内定後のプログラム参加取り消しについて	5
6. プログラム共通事項	6

問合せ・郵送先:

アカデミック・オフィス/DUDP チーム

〒874-8577

大分県別府市十文字原 1-1

立命館アジア太平洋大学

アカデミック・オフィス/DUDP チーム

担当: エミリヤ、小野

E-mail : dudp@apu.ac.jp

TEL : 0977-78-1101

FAX : 0977-78-1102

1. 募集概要

- 1) 参加者数:最大 10 名
- 2) 申請期間:2022 年 3 月 1 日~2022 年 3 月 22 日 14:00
- 3) 申請 URL: <https://survey2.apu.ac.jp/limesurvey/index.php/711124?lang=en>
- 4) 申請条件 (以下の全ての項目を満たす必要があります)

		2022 秋 入学者	2023 春 入学者
在籍条件	国際経営学部(APM)に在籍する 2022 年秋入学の学生若しくは 2023 年春入学予定の学生	○	○
国籍	フランスのパスポート保持者は、中学生以後 (G7 以後) においてフランスでの学習歴が 4 年未満であること	○	○
言語条件	TOEFL ITP® 525 TOEFL iBT® 71 IELTS™ 5.5 TOEIC L&R Test 700 英検 準 1 級	○	○
入門科目の単位取得	下記の科目を履修する意思のある者、もしくは単位修得済みの者 a) 基礎数学 および b) 統計学	○	○
GPA	第 I セメスターの通算 GPA が 2.80 以上の者	○	--
単位取得	第 I セメスターで 14 単位以上の単位を修得している者	○	--
必修言語科目の単位修得	2023 年春セメスター終了までに、英語中級 (日本語基準学生) 言語科目について 2023 年度春セメスター修了時に英語中級 (日本語基準学生の場合) もしくは日本語初級 I・II・III (2022 年度秋セメスター入学英語基準学生の場合) または日本語初級 I・II (2023 年度春セメスター英語基準学生の場合) を修得済みもしくは修得見込みの者。 ※申請時に当該レベルの履修免除申請に必要な言語スコアを所持している場合には申請可能。	○	○

5) 申請書類

書類	申請時に提出	内定後に提出	詳細
志望理由書(英語)	○	--	本プログラムに参加目的を明確に記載すること
小論文(英語)	○	--	指定されたトピック 2 つについて、論理的でかつ高度な英語を用いた小論文であること
顔写真(データ)	○	--	
経費支弁書	○	--	
英語能力を証明するスコア	○	○ 2023/4/28 まで	「4. 内定者」に書かれている言語条件を満たしたスコアを申請時に提出した場合は、内定後の提出は不要
成績証明書	--	○	2022 年秋入学の学生のみ対象
高校の成績証明書 または調査書	○	--	2023 年春入学の学生のみ対象。原本を 3. 申請方法に記載の住所へ郵送してください。

6) 選考スケジュール

日にち	内容	連絡方法
2023年3月29日(木)	書類選考結果発表	Email
2023年4月3日(月)~4月7日(金)	面接*	オンライン (Zoom)
2022年4月中旬	学内選考結果発表	キャンパスターミナル
2023年4月28日(金)	最終選考結果発表	キャンパスターミナル

*上記の面接期間以外に個人面談を行う場合は、個別に対象者へ連絡をします。

2. 選考

1) 選考方法

選考は、学業成績、申請書類、語学運用能力、学修計画、英語で行われる面接などの結果に基づいて、総合的に判断します。

2) 選考基準

小論文

- 本プログラムに参加目的が明確であること。

言語運用能力

- 外国の大学で勉強生活を送るにふさわしい英語運用能力を有していること。
- 学内選考の際、申請時の言語条件を満たしていること。

面接 (書類審査合格者のみ実施)

- 明確な学修計画や到達目標があること。
- 派遣国社会に溶け込むのに必要な適応性があり、自らの力で留学生活における困難を乗り越える力と、それに対処する気質を有していること。
- 高度な英語運用能力を有していること。

3) 重要事項

- 原則として、派遣決定後の辞退はできません。
- 今後の新型コロナウイルス感染の状況次第では、2023年秋に派遣ができない可能性があることを理解した上で申請を行ってください。詳しくは6ページ以降「プログラム共通事項」の「4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消しについて」を確認してください。

3. 申請方法

[Off-campus Study Program のウェブサイト](#)のプログラム概要と以下の手続きをよく読んで、オンライン申請を行ってください。書類不備があった場合は、申請を受け付けません。

ステップ 1 以下の書類を準備する。

オンライン申請の最後に 1)および 2)をアップロードする必要があります。

1) 顔写真(データ)

- 顔写真はアカデミック・オフィスが参加者をサポートするにあたり、参加者の顔と名前を一致させるために使用します。そのため、写真は申請者本人が正面を向いて映っているもので、顔がはっきりと確認できるものであれば、証明写真でなくても構いません。ただし、申請者以外の人が入り込んでいる写真は受け付けません。
- 正面を向き、帽子、マスク、サングラスなどを着用していない顔写真データを準備してください。
- 過去6ヶ月以内に撮影されたものを使用してください。
- ファイル名は例に従い、「Photo_氏名(アルファベット)」としてください。
例) Photo_RITSUMEIHanako.jpeg

2) 言語運用能力を証明するスコアのコピー

- 申請条件に記載された英語運用能力を満たすスコアを提出してください。
- ウェブスコアや期限切れのスコアでも申請はできますが、2023年4月28日までに試験実施団体が発行する正式な有効期限内のスコア証明書が必要です。なお、APUが実施したTOEFL ITPで英語運用能力を証明する場合は正式な証明書は不要です。
- ウェブスコアを提出する場合は、必ず申請者の氏名、スコア、テスト取得日が確認できるページを提出してください。
- 英語が母語でない英語基準学生も英語スコアを提出する必要があります。
- アドミッションズ・オフィスでは、入学試験時に提出されたスコアの返却は行いません。
- ファイル名は例に従い、「Score_氏名(アルファベット)」としてください。
例) Score_RITSUMEIHanako.pdf

3) 経費支弁書の署名 (Adobe 電子署名)

申請者および経費支弁者の両方が電子署名をする必要があります。まず、申請者が必要事項を入力後、経費支弁者の氏名およびemailアドレスを入力します。申請者側の全ての入力・電子署名が完了すると、経費支弁者の入力および電子署名ができるようになります。[こちら](#)で利用マニュアルを参考できます。

4) フランスのパスポート保持者のみ：中学生以後（G7 以後）の学習歴を証明する書類
フランスのパスポート保持者は、中学校以降(G7 以降)の全ての成績証明書を提出する必要があります。在籍期間が成績証明書に記載されていない場合は、その学校に在籍した期間を証明する書類を別途提出する必要があります。学習歴を証明する書類が提出できない場合は、申請を受け付けません。

ステップ 2 オンライン申請(英語のみ)

- オンライン申請は英語で回答してください。

- 指定されている項目に記入がない場合、極端に文字数が足りない場合は選考を行いません。
- オンライン申請完了後は“Print your answers”をクリックし、申請内容を印刷し、保管しておいてください。ご自身の申請内容に関して疑義がある際は、必ず印刷した申請内容を持参してください。印刷がない場合は疑義を受け付けません。
- 複数回申請を行った場合は、申請日が新しいもののみを受け付けます。

ステップ 3 2023 年春入学生のみ対象

高校の成績証明書もしくは調査書を指定の住所に郵送してください。申請締切日までに到着するように郵送してください。オンライン申請時にアップロードの必要はありません。

4. 派遣内定者

1) 英語運用能力を証明するスコア

NBS の言語条件として、以下の正式なスコアが必要となります。

申請時に以下のいずれかの言語スコアを保持していない場合は、2023 年 4 月 28 日(金)までに以下の正式なスコア(コピー可)を提出する必要があります。

NBS 言語条件		
TOEFL ITP	TOEFL iBT	IELTS
550	79	6.0

2) 派遣内定者ガイダンス

第 1 回目の派遣内定者ガイダンスは 2023 年 4 月 26 日(水)に実施します。詳細は後日、内定者に案内をします。

5. 派遣内定後のプログラム参加取り消しについて

以下の条件全てを満たさない場合は、プログラムの参加が取り消しとなる場合があります。

派遣前:

- 2023 年春 Semester 終了時に通算 GPA が 2.80 以上であること。
- 2023 年春 Semester 終了時に、英語中級(日本語基準)または日本語初級(英語基準)の単位を修得もしくは免除されていること。
- 「4. 派遣内定者」に記載された言語条件を満たすこと。

派遣後:

- NBS が指定する必須科目の単位を修得すること。
- NBS で良い成績を修めること。

上記に加え、「6. プログラム共通事項」の「4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」の条件に該当する場合は、派遣内定取消、派遣中止またはプログラムを中断する場合があります。

6. プログラム共通事項

1. 査証（ビザ）

出発から帰国までに必要となるビザを確認の上、学生本人の責任で申請してください。必要となるビザは、学生の国籍や派遣国・地域、滞在期間などによって異なります。必要となるビザ(トランジットビザを含む)および必要書類等は各大使館のホームページ等で各自確認してください。なお、ビザ申請要件は予告無しに変更される場合がありますので、最新情報を入手するようにしてください。オンアライバルビザ(On-arrival Visa)での参加は、ビザ発給国の定めにより渡航前にビザを取得できない場合以外は原則認められません。

万一、所定の期日までにビザが取得できない場合は、派遣・留学は取り消しとなります。また、派遣・留学開始時期の変更等はいりません。

その際にかかるキャンセル料は、参加者の負担となります。負担するキャンセル料と成績については「免責事項・留意事項」に準じて取り扱います。

[国際学生のみ]

プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の条件を確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、スチューデント・オフィスで確認してください。

注意) プログラムによってはビザの申請を代行会社に委託している場合があります。詳細はプログラム担当者に確認してください。

2. 保険

個人で既に加入している場合も含め、APU 及び派遣先大学が指定する国内・海外旅行保険、JCSOS 危機管理システム(J-TAS)等への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、事前授業又は参加者ガイダンスで説明します。

3. 予防接種

事前授業又は参加者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類などを案内します。ヘルスクリニックが推奨する予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

ただし派遣先によっては予防接種が必須になる場合があるため、ガイダンス内の指示に従ってください。

4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り直し

① 次の条件に当てはまる場合は、教学部長が学生派遣の中止を判断します。

- 1) 派遣先国・地域についての外務省の危険情報がレベル 2 以上である場合。ただし、新たな感染症の蔓延等により、感染症危険情報が発令された場合は、状況に応じ

て判断する。

2) 社会情勢を鑑み、プログラムを安全に実施できないと考えられる場合

2-1) 中止判断にあたり留意されることは、実習先での天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・危機発生時の派遣先機関における派遣学生への支援内容・その他不可抗力に起因する事態が発生した場合等が想定されます。

3) 派遣先大学が、渡航を伴う APU からの学生受入中止を判断した場合

② 以下のいずれかに該当する場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加が取り消されることがあります。なお、交換留学、ダブルディグリープログラム、短期サマー/ウィンタープログラムを除くプログラムについては、参加を取り消された場合、成績は原則として「F」評価となります。

A) 参加態度・出席状況などを勘案し、受講不相当と判断された場合

B) 選考結果発表後、懲戒処分の対象となった場合

C) 指定の海外旅行傷害保険などに加入しない場合や、書類の提出を怠る、必要なガイダンスに参加しないなど大学の指示に従わない場合

D) 負傷・病気等で留学が適当でないと大学が判断した場合

E) 不正行為を行った場合

F) その他学生としての本分に反した場合

③ 受講が取り消された時点で既に発生している費用については、学生本人が費用を支払う必要があります。

5. 選考結果発表後の辞退について

本学は皆さんがプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。

従って、選考結果発表後の辞退は原則認められません。

申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。なお、期日内に大学が指定した費用の支払いがない場合は辞退したものと扱います。キャンセル料については、次項「6. キャンセル料について」を参照してください。

単位付与があるプログラムの場合、辞退した者の成績評価は原則として「F」評価となります。

6. キャンセル料について

選考結果発表後に辞退せざるを得ない状況が生じた場合、辞退する学生は、その時点までに発生した費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金

手数料等)も含まれます。

既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、一定時間を要します。

7. 履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。選考結果発表後に問題が判明した場合および「4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」に記載している事象が発生した場合も、特別な配慮等はありません。自己責任において、プログラムの応募を行ってください。

注意) 講義内容が同じプログラムに複数回参加することはできません。申請を希望するプログラムが、すでに修得済みのプログラムの内容と同一かどうか不明な場合は、事前にアカデミック・オフィスにお問い合わせください。

8. 個人情報の取扱いについて

詳細は、誓約書を参照してください。

9. プログラム参加にあたって

1. プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと定めてください。なお、派遣前後に行う事前/事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。

2. プログラム参加中は「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」および「Off-campus Study Programへ参加する学生のための危機管理ガイドライン」を遵守してください。

交換留学・ダブルディグリープログラム・短期サマー/ウィンタープログラムに 参加するにあたっての遵守事項

1. 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program (以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない。

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学 (以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関 (以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
- (4) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

2. 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任で行うこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険にプログラム期間に関わらず日本出国から日本帰国までの全ての渡航期間について加入すること。危機管理支援システム (J-TAS) にはプログラム期間を含み本学が指定する期間について加入すること。
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 「Off-campus Study Program参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
- (5) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (6) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。
- (7) 本学もしくは派遣先の教職員によって医療行為が必要と判断された状況下で、自らの意思で受診をしなかった場合、如何なる問題が起こったとしても本学、派遣先はその責任を負わない。

3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用 (実習費・宿泊費・交通費・保険料等) は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 募集要項に定める所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへの参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費 (派遣先から本学に請求された必要経費を含む) を負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、3.(2)と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。本学、派遣先はその責任を負わない。
- (8) 大学に事前に申告した日本出国日から日本帰国日までの期間以外での行動は本学の責任ではなく、すべて参加者本人の責任において行動すること。

4. 入国・帰国 (海外で実施されるプログラムのみ)

- (1) 日本からの出国および帰国日ならびに途中の旅程を予め本学に提出すること。
- (2) 予め、本学に提出した旅程を理由なく変更しないこと。変更した場合は、変更した旅程を本学に提出すること。

5. 誓約書の提出

上記事項を理解し、本人および保証人による誓約書を提出すること。

誓約書

私は、下記プログラムに参加するにあたり、募集要項・シラバスおよび別紙の遵守事項を理解し、各事項を厳守し、誠実に履行することを、ここに誓約します。また、大学に事前に申告した日本出国日から日本帰国日までの期間以外の行動は、全て私の責任において行動することを理解しています。申請書やその他提出書類に記載した個人情報（氏名、性別、生年月日、その他本プログラムに係り大学へ提供した情報）は、プログラム参加手続および本学が管理・運営に関する業務の目的のために、本学内で使用されること、また、第三者（派遣先大学・機関、旅行代理店、査証取得代行会社、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設、関係国（日本、参加学生の母国、派遣国）の在外公館及び政府機関）に提供されることに同意します。

本人記入欄

日付 _____

学生本人署名 _____ ※「描画」で署名（入力不可）

学籍番号 _____

参加プログラム _____ 派遣先大学・機関： _____

学部 APM APS

回生 1 2 3 4

郵便番号 〒 _____

住所 _____

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

保証人記入欄

■私は、募集要項及び別紙の遵守事項を本人に遵守させるとともに、これに反することによって生じた一切の事項について責任を持つこととします。

日付 _____

保証人署名 _____ ※「描画」で署名（入力不可）

郵便番号 〒 _____

住所 _____

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

電話番号 _____

本人との関係 _____

※保証人欄は、父母・身元引受者等が記載してください。

【以下のいずれかに該当する場合、保証は無効であるため、プログラム参加によって生じる一切の債務は、学生自身が負担することとなります】

- ・ 本人または保証人の署名がそれぞれの当人による直筆でない場合、または、両人の記入欄における筆跡が同一人物のものであると判断される場合
- ・ 友人や知人などが保証人になっているなど、その保証能力に欠けると本学が判断する場合
- ・ 記入欄に未記入箇所がある場合
- ・ その他、内容について虚偽の疑いがある場合